

地震災害から身を守るために

地震災害は発生から被災までの時間が短く、予測も難しいと言われています。いつ起きるかわからない地震から身を守るため日頃から備えましょう。

家具の置き方を工夫する

- 家具を壁に固定するなどして、転倒を防ぐ。
- 寝室や子ども部屋には、できる限り家具を置かないようにする。
- 家具を置く場合は、なるべく背の低い家具にし、倒れた時に出入口をふさがないように配置を工夫する。

避難場所や避難経路を確認する

- 市が作成したハザードマップを参考に、災害をイメージして家族で確認しておく。

※災害の種類(地震・大雨など)によって、安全な避難場所や避難経路は異なります



食料・飲料を十分備蓄する

- 非常食… 3日分
(アルファ米、缶詰、栄養補助食品など)
- 飲料水… 3日分
(1人1日3リットルが目安)
- 常備薬や衛生用品
(トイレットペーパー、ティッシュペーパーなど)

非常持ち出し袋を準備する

マスク・消毒用アルコール・ウエットティッシュ・体温計・懐中電灯・携帯ラジオ・予備電池・携帯電話の充電器・衣類・下着・毛布・タオル・防寒用ジャケット・雨具・軍手・缶切り・ライター・マッチ・携帯用トイレ・備蓄食料・飲料・持病の薬・お薬手帳など

また、災害時に身元が確認できる運転免許証、マイナンバーカード、身体障害者手帳、母子健康手帳等の身分証明書



災害時の伝言サービスをご存じですか

災害時は携帯電話がつながりにくくなり、連絡がとれない場合があります。伝言サービスを利用しましょう。

災害用伝言サービス

局番なしの「171」に電話すると伝言を録音できます。自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。

災害用伝言版(web171)

携帯電話からインターネット上で伝言などを登録できます。自分の電話番号を知っている家族などが閲覧できます。

消費生活相談室

消費生活相談室 ☎27-5188
毎週月～金曜日
9時～12時、13時～16時



遺品整理を頼むとき、事業者選びは慎重に！

事例

亡父の遺品整理のためネットで探した回収業者に電話で依頼した。当初、20万円くらいかかると聞いていたが、作業後に料金は30万円と言われた。



消費者へのアドバイス

- 遺品整理サービスの作業内容や料金はさまざまです。必ず複数の事業者から見積もりをとって契約内容や料金を比較し、慎重に事業者を選びましょう。
- 契約する際は、作業日・具体的な作業内容・料金・支払方法・解約料のほか、追加料金の請求がないか事前に確認しましょう。
- 遺品を買い取ってもらうときは「古物商許可証」や「行商従業者証」を持っているか確認しましょう。
- 残しておく遺品と、処分する遺品を明確に分け、作業にはできるだけ立ち合しましょう。

困ったときは、すぐ相談！